

令和元年 10 月 11 日  
山形県環境エネルギー部  
循環型社会推進課

## 6 月 18 日の山形県沖を震源とする地震に伴う災害廃棄物の状況

### 1 災害の状況

令和元年 6 月 18 日 22 時 22 分、山形県沖深さ 14km を震源地とする地震が発生した。地震の規模（マグニチュード）は 6.7 と推定され、鶴岡市で震度 6 弱を観測したほか、隣接する新潟県村上市では最大震度 6 強を観測した。

### 2 被害の状況（鶴岡市）

人的被害 負傷者：18 人

建物被害 半壊：11 戸、一部損壊：917 戸

### 3 災害廃棄物の状況

災害廃棄物発生量：約 1,200 m<sup>3</sup>（主な廃棄物 焼瓦:241 m<sup>3</sup>、コンクリートがら:375 m<sup>3</sup>、廃材:304 m<sup>3</sup>）

### 4 仮置場の状況

以下の 7 カ所に設置し、現在は、岡山最終処分場駐車場、旧消防温海分署跡地のみ開設。

①岡山最終処分場駐車場、②旧消防温海分署跡地（6/22～開設）

③小岩川広場、④<sup>わさだ</sup>早田地区公民館脇広場、⑤<sup>ひらさはま</sup>平佐浜野積場（6/22～7/31 開設）

⑥由良第 2 駐車場（6/23～7/7 開設）、

⑦三瀬コミュニティセンター（6/30、7/7 開設）

### 5 災害廃棄物の処理状況

○ 仮置場で、6 種類に分別

（①焼瓦、②コンクリートがら（ブロック、モルタル瓦等）、③廃材（木くず）、④可燃物（布団、畳等）、⑤家電製品、⑥その他災害ごみ）

○ 処分方法

①焼瓦： 庄内総合支庁環境課が推進する「瓦リサイクルの手引き」に基づき、山形県産業資源循環協会と調整し、処理実績のある事業者へ委託し、破砕処理して、リサイクル資材として処理。

②コンクリートがら、③廃材（木くず）：

鶴岡市の一般廃棄物処分業の許可を有する業者が、破砕処理して建設資材としてリサイクル処理。

④可燃物（布団、畳等）、⑤家電製品、⑥その他災害ごみ：

鶴岡市のリサイクル施設で処理。

### 6 その他

鶴岡市が 6 月 20 日に、災害等廃棄物処理事業費補助金（以下、補助金という）を活用する方針を決定した。

環境省が 7 月 8 日に、鶴岡市、村上市に対して、補助金制度を説明した。

県は、鶴岡市に対して災害廃棄物処理方法、補助金申請に必要な書類作成等の支援を行っている。

なお、鶴岡市では、き損した屋根瓦の撤去費用について、市の「屋根瓦修繕緊急支援事業」により支援することとし、国の補助金対象としないこととした。

被災状況写真



被災状況（鶴岡市小岩川地区）



被災状況（鶴岡市小岩川地区）



被災状況（鶴岡市小岩川地区）



被災状況（鶴岡市小岩川地区）



被災状況（鶴岡市小岩川地区）



被災状況（鶴岡市小岩川地区）





仮置場（鶴岡市小岩川地区）



仮置場（鶴岡市岡山地区）



仮置場（鶴岡市温海地区）



仮置場（鶴岡市温海地区）



仮置場（鶴岡市鼠ヶ関地区）



仮置場（鶴岡市鼠ヶ関地区）